

# 臨床外傷治療学1

科目ナンバー 7C307  
専門分野 必修 2単位

大塚 博史

## 1. 授業の概要(ねらい)

国家試験に対応した項目の内容を復習し確実な実力を身に付け、臨床的能力が修得できる国家試験対策授業です。模擬試験などを行い、国家試験形式に慣れることも行います。

また、授業時の質問に対してグループディスカッションして答えてもらいます。

この授業では、DP2・3に関する知識、技法、態度を習得します。

本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は医療機関(整形外科・リハビリテーション科)で従事しており、授業では、臨床例、課題などを題材とした講義、実習を行います。

## 2. 授業の到達目標

学生は国家試験の出題基準における内容の理解だけでなく、臨床的能力も修得し、国家試験に合格する実力を身に付けることが目的である。

## 3. 成績評価の方法および基準

期末筆記試験を100%として評価を行い、60%以上を取得した者を合格とします。

2/3以上の出席がない学生の評価は行いません。

全体に対するフィードバックとして、第15回授業でまとめと振り返りを行います。

## 4. 教科書・参考文献

教科書

全国柔道整復学校協会 監修 柔道整復学・理論編 改訂第6版 南江堂

全国柔道整復学校協会 監修 柔道整復学・実技編 改訂第2版 南江堂

## 5. 準備学習の内容

予習としてLMSで指定された課題についてまとめてから授業に臨んで下さい。

教科書の指定の部を読み(授業内容の項目およびLMS)、全体の概要をとらえておき、難読と思われる用語については事前に読めるよう調べて下さい。

復習としてLMSで指定された項目についてまとめ、さらに確認問題を解いて下さい。

およそ予習に1時間、課題と問題解答の復習に2時間を見込んでいます。

## 6. その他履修上の注意事項

① 座席は教員が指定します。

② 7.授業内容に沿って授業を進めますが、状況により調整を行う場合があります。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、国家試験の傾向について
- 【第2回】 模擬試験(午前の部)
- 【第3回】 模擬試験(午後の部)
- 【第4回】 模擬試験の要点と解説
- 【第5回】 国家試験演習と要点の解説(骨折総論)
- 【第6回】 国家試験演習と要点の解説(脱臼総論)
- 【第7回】 国家試験演習と要点の解説(上肢骨折)
- 【第8回】 国家試験演習と要点の解説(上肢脱臼)
- 【第9回】 前半授業のまとめ
- 【第10回】 国家試験演習と要点の解説(下肢骨折)
- 【第11回】 国家試験演習と要点の解説(下肢脱臼)
- 【第12回】 国家試験演習と要点の解説(体幹)
- 【第13回】 国家試験演習と要点の解説(上肢軟部組織損傷)
- 【第14回】 国家試験演習と要点の解説(下肢軟部組織損傷)
- 【第15回】 後半授業のまとめ